

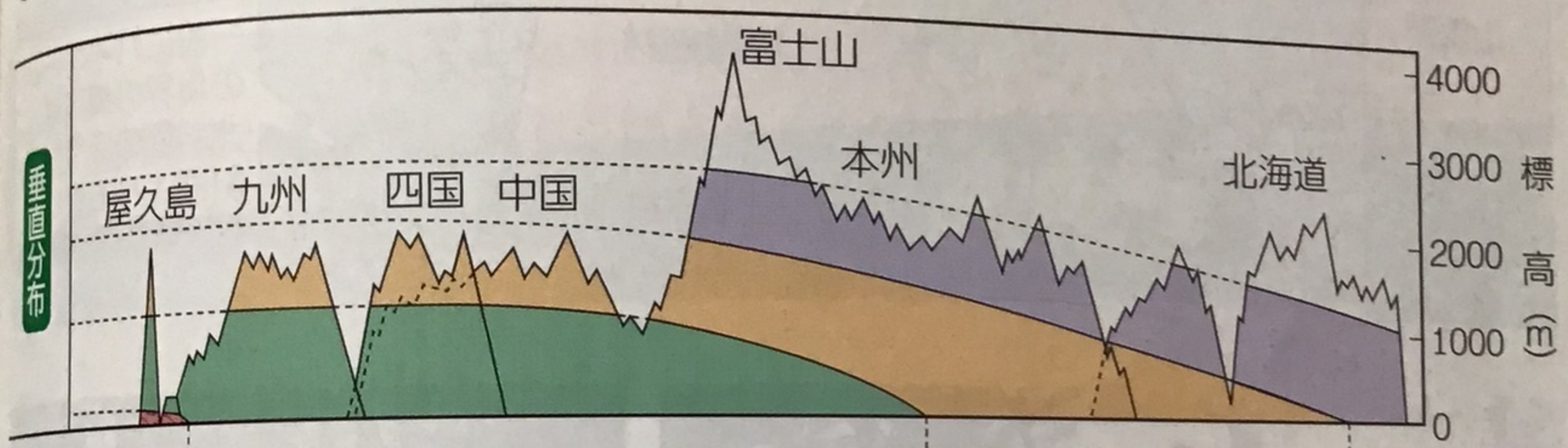
低くなる。したがって、高緯度から低緯度へ向かって、低緯度から高緯度への変
化と同じようなバイオームの分布が見られる。このような、標高に応じた
垂直方向のバイオームの分布を **垂直分布** という。

本州中部では、標高 700m 付近までの **丘陵帯** にはシイ類、カシ類を中
心とした照葉樹林が、標高 1700m 付近までの **山地帯** にはブナやミズナラ
の林が発達する夏緑樹林が、また、標高 2500m 付近までの **亜高山帯** には
シラビソ、オオシラビソ、コメツガなどからなる針葉樹林や、落葉広葉樹
であるダケカンバの林が見られる。

▶ p.215

▶ p.215

▶ p.216



亜熱帯多雨林	照葉樹林	夏緑樹林	針葉樹林
--------	------	------	------

亜熱帯 アコウ, ガジュマル	暖温帯 (暖帯) スダジイ, アラカシ, タブノキ	冷温帯 (温帯) ブナ, ミズナラ, カエデ類	亜寒帯 エゾマツ, トドマツ
----------------------	---------------------------------	-------------------------------	----------------------



日本は森林となり得る降水量が十分
あって、どのような森林になるかは
おもに気温によって決まる

水平分布

30 日本のバイオームの分布

火事や伐採などで植生が破壊された後、遷移の進行によって成立した林。